

# 国際交流 2020-2021

International Exchange  
MAIZURU 2020-2021



## 舞鶴市国際交流報告書

---

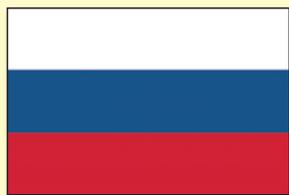
## 目 次

---

姉妹都市・ナホトカ市の概要 .....	P 3
友好都市・大連市の概要 .....	P 4
姉妹都市・ポーツマス市の概要 .....	P 5
その他の交流がある国・都市 .....	P 6
京都舞鶴港と対岸諸港を結ぶ国際航路図 .....	P 7
大連市・ナホトカ市との交流 .....	P 8
浦項市との交流 .....	P 9
ウズベキスタン共和国とのホストタウン交流 .....	P11
ウズベキスタン共和国との人材育成交流 .....	P18
京都舞鶴港を活用した貿易振興 .....	P21
京都舞鶴港を活用したクルーズ客船の誘致 .....	P22
その他国際交流 .....	P23
外務省勤務録 ～4年間の派遣を終えて～	
みなと振興・国際交流課付 池田 好宏 .....	P27
各種ホームページの紹介 .....	P31

---

※氏名の記載については、敬称を省略させていただき、職名や組織名等は当時のものとさせていただきます。



## 姉妹都市 ナホトカ市 (ロシア連邦) Nakhodka



### 姉妹都市提携年月日

1961 (昭和36) 年6月21日



### ナホトカ市の概要

ナホトカ市はロシア連邦沿海地方の南東部に位置し、面積約325.9K㎡、人口約14万3千人(2021年1月現在)を有する都市です。19世紀半ば過ぎにロシアの軍艦「アメリカ号」が偶然発見したのが都市の起源であり、「ナホトカ」には、ロシア語で「見つけもの」の意味があります。日本との時差は+1時間。

**産業**：舞鶴と同じ天然の良港を有する国際港湾都市で、主な産業は、海上輸送、漁業、石油製品卸、建設業、商業です。また、シベリア鉄道の東端に位置しているため、遠くロシア西部やヨーロッパをも後背地とする重要な物流港です。

**気候**：モンスーン型気候で1月の平均気温は-13℃、8月の平均気温は18℃、年間降水量は740mm。

**その他の姉妹都市**：敦賀市・小樽市(日本)、吉林市(中国)、東海市(韓国)、オークランド市・ベリンガム市(アメリカ)、ブーケット州(タイ)



ナホトカ市庁舎



### ナホトカ市との交流

1956年日ソ共同宣言の調印により、舞鶴市では引揚者の乗船港としても縁の深いナホトカ市と貿易で友好を深め、日ソ両国の友好強化に寄与しようという機運が高まり、1956年に舞鶴市議会において、ナホトカ市に対する友好決議が行われました。1961年6月、ドウボフカ・ナホトカ市長を舞鶴市に迎え、日本とソビエト連邦(当時)との間で初めてとなる姉妹都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では「日本海を平和と友情の海に」を合言葉に、スポーツ交流団の相互派遣、少年使節団の交換、通信体育競技会の実施など活発な交流が展開され、2021年には、姉妹都市提携60周年を迎えました。



舞鶴市・ナホトカ市友好の碑



ナホトカ商業港



カザンスキー教会



## 友好都市 大連市 (中国) Dalian

### 友好都市提携年月日

1982 (昭和57) 年5月8日

### 大連市の概要

大連市は中国東北部遼東半島最南端に位置し (緯度は日本の山形県酒田市とほぼ同じ)、東は黄海、西は渤海、南に海を隔てて山東半島を望む港湾工業都市です。人口601万6千人 (2020年現在)、面積約12,574K㎡。1899年にロシア人が大連港の建設を開始したのが都市としての始まりです。日本との時差は-1時間。

**産業**：古くから造船・石油化学など重工業の拠点でしたが、改革開放後、東北地方においていち早く市場経済化に取り組みました。90年代からは日系を中心とする外資系製造業の誘致に成功し、近年は海外IT企業の進出も目覚ましく、環境技術の導入にも力を入れています。一方、観光産業における発展も目覚ましく、「アカシア祭り」「国際ビーチ祭り」「国際ビール祭り」「国際マラソン大会」など季節ごとにイベントが開催され、多くの外国人観光客で賑わっています。

**気候**：暖温帯大陸性モンスーン気候で、四季がはっきりしています。1月の平均気温は-3.9℃、8月の平均気温は24.1℃、年間降水量は550～950mm。

**その他の友好都市**：北九州市 (日本)、ブレーメン市・ロストック市 (ドイツ)、グラスゴー市 (イギリス)、ル・アーヴル市 (フランス)、オークランド市 (アメリカ)、ウラジオストク市 (ロシア)、ポワントノワール市 (コンゴ共和国)、エンスヘーデ市 (オランダ)



大連市人民政府庁舎

### 大連市との交流

舞鶴市では、地理的な条件や引き揚げ等の歴史的な経過から、大連市 (当時旅大市) との友好交流を望む市民の声が強くありました。1978年の日中平和友好条約の締結により、舞鶴市としても友好都市提携実現に向け、関係機関への働きかけや経済・貿易関係の交流を積極的に展開した結果、1982年5月、舞鶴市において崔栄漢・大連市長 (当時) を迎え、友好都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では各種訪問団の相互派遣、少年使節団の交換、友好の船の派遣など活発な交流が展開され、2017年には、友好都市提携35周年を迎えました。



白玉山からの旅順港の眺め



中山広場



大連の海鮮料理



## 姉妹都市 ポーツマス市 (英国) Portsmouth



### 姉妹都市提携年月日

1998 (平成10) 年5月15日・27日



### ポーツマス市の概要

ポーツマス市は英国南部のイギリス海峡に面した港湾観光都市です。人口約23万8千人(2011年現在)、面積約40Km<sup>2</sup>。ロンドンの南西部110kmに位置し、1927年に市制を施行しましたが、ポーツマス市の起源は1194年にリチャード1世の憲章にはじまり、800年余の古い歴史を持ちます。日本との時差は-9時間。



ポーツマス・ギルドホール

**産業：**英国海軍の主要基地として発展してきた町で、現在、海軍基地はポーツマス・ヒストリック・ドックヤードと呼ばれる観光施設として利用され、当時の軍艦等が保存されています。多くの博物館や観光施設を有する、英国のみならずヨーロッパでも有数のリゾート地として知られています。近年では、港湾地区の再開発が進められ、複合レジャー施設「ガンワフ・キー」が注目を集めています。

**気候：**北部を丘陵地帯に守られ、イギリス海峡の湾流の影響もあり、温暖な気候に恵まれています。平均気温は夏で18～25℃、冬で5～12℃ほどです。

**その他の姉妹都市：**カーン市(フランス)、デュースブルク市(ドイツ)、ハイファ市(イスラエル)、ポーツマス3市(アメリカ・ニューハンプシャー州、バージニア州、ロードアイランド州)、シドニー市(オーストラリア)、珠海市・湛江市(中国)、シレット市(バングラデシュ)、フォークランド諸島(英国領)、ハリファックス市(カナダ)



### ポーツマス市との交流

舞鶴市とポーツマス市は、1993年赤れんが博物館の開館時にポーツマス市かられんがが贈られたことをきっかけに交流が始まりました。その後、小中学校の手紙の交換やボーイスカウトの交流など市民レベルでの交流が進み、1998年5月に舞鶴市・ポーツマス市の市長が両市を相互訪問し、姉妹都市提携が実現しました。2018年には、姉妹都市提携20周年を迎えました。



スピナータワー



ビクトリー号



ガンワフ キーズ

## その他の交流がある国・都市



### 浦項市 (大韓民国) Pohang



#### 浦項市の概要

浦項市は、韓国・慶尚北道の東海岸に位置する、人口約50万4千人(2021年12月現在)、市の面積約1,129Km<sup>2</sup>の国際港湾都市で



韓国で一番最初に日が昇る地として有名な「ホミゴツ」

です。古くから水産業で栄えたまちでしたが、1970年代初頭に「浦項製鉄所 (POSCO)」が誕生して以来、韓国有数の工業都市として発展してきました。浦項港では、鉄鋼関係の輸出入が大半を占めます。2014年にKTX(韓国版新幹線)が開通し、首都ソウルから約2時間半でアクセスできるようになりました。



#### 浦項市との交流

2011年7月に、京都府とともに「経済交流等の推進に関する協定書」を締結後、本格的に交流を開始しました。2011年11月に、京都舞鶴港が国から3つの機能(国際海上コンテナ、国際フェリー・RORO船、外航クルーズ)で「日本海側拠点港」の選定を受けて以来、国際フェリー航路の開設に向けた取り組みを実施。現在、舞鶴市では浦項市と中学生の相互訪問など、青少年交流を進めています。



### ウズベキスタン共和国 (首都：タシケント市) Republic of Uzbekistan



#### ウズベキスタン共和国の概要

ウズベキスタンは日本からおよそ6,400km離れた中央アジアに位置しており、面積は日本のおよそ1.2倍、人口は約3,390



日本人抑留者が建設に携わった「ナヴォイ劇場」

万人(2021年現在)、1991年にソビエト連邦(以降、ソ連)崩壊に伴い独立した国です。世界に2つしかない「二重内陸国」の1つで、海へ出るためには2つ国を越えなければなりません。

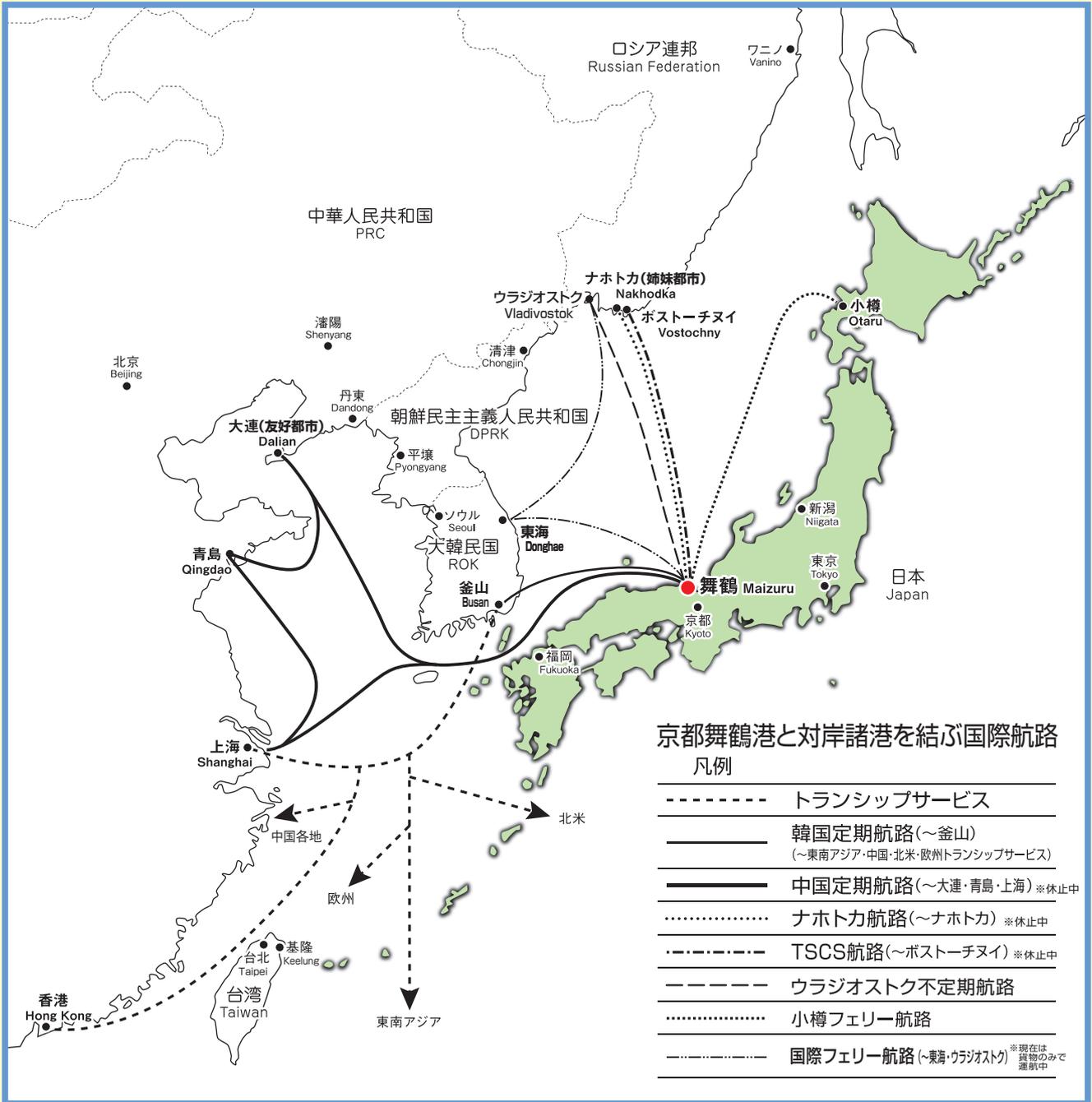


#### ウズベキスタン共和国との交流

2016年1月、首都タシケント市内の日本人抑留者資料館のスルタノフ・ジャリル館長が舞鶴市を訪問したことがきっかけでウズベキスタンとの交流が始まりました。その後、東京2020オリンピックにおけるウズベキスタンのホストタウンに登録され、2021年の本大会直前には、柔道代表選手団が舞鶴市で事前合宿を実施。現在、2019年にリシタン地方と交換した「人材育成交流に関する覚書」に基づき、ウズベキスタンの発展に寄与する「農業」「介護福祉」「産業技術」分野の人材育成に協力しています。



# 京都舞鶴港と対岸諸港を結ぶ国際航路図



# 大連市・ナホトカ市との交流

## 2021年5月12日(水) 大連市と介護交流に関するオンライン協議を実施

大連市から、新たな交流のテーマとして介護福祉人材の育成に関する交流を進めたいと提案があり、オンライン協議を行いました。

### 《場所》

(当方)市役所本館2階 産業振興部

(先方)大連医科大学附属第一医院連合路病棟2階大会議室

### 《出席者》

(当方)

舞鶴市産業振興部長	小谷 裕司
舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	渡瀬 弘樹
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係	坪内 善紀
舞鶴市福祉企画課長	松本 諭一
舞鶴市福祉企画課企画係長	川手 大輔
舞鶴市高齢者支援課長	植和田浩行
舞鶴市高齢者支援課主幹	竹山 真
舞鶴市高齢者支援課介護保険係長	岩崎 充孝
社会福祉法人グレイスヴィルまいづる理事	淡路由紀子
(先方)	
大連市人民对外友好協会副会長	于 濤
大連市人民对外友好協会秘書長	姜春梅



オンラインを介して協議を行う舞鶴市と大連市の関係者

大連市民生局処長	呉紅宇
大連市衛生保健委員会副処長	白景清
大連医科大学附属第一医院副院長	馬灵斐
大連市中日看護・介護人材交流訓練センター主任	史鉄英
大連市中日経済合作交流協会会長	徐朝法
他14人	

## 2021年6月 ナホトカ市で姉妹都市写真展が開催

2021年は、ナホトカ市にとって舞鶴市との姉妹都市提携60周年、小樽市との同55周年にあたり、さらに2022年は敦賀市との同40周年を迎えます。このような背景から、コロナ禍においても実施可能なイベントと

して、ナホトカ市が写真展を開催。6月8日(火)のオープニングセレモニーでは、舞鶴市長によるビデオメッセージも放映されました。



(上)多々見良三舞鶴市長のビデオメッセージを放映  
(左)舞鶴市、小樽市、敦賀市の写真を展示

# 浦項市との交流

## 2020年9月17日(木) 舞鶴市長と浦項市長のオンライン会談を実施

日韓露国際フェリー就航に合わせ、舞鶴市と浦項市の市長によるオンライン会談を実施。同フェリーによる人流・物流の推進について意見交換しました。※2022年3月現在、航路を東海港に変更し運航中。

《場所》市役所本館3階 301会議室

Web会議システムZoomを利用

### 《出席者》

(当方)

舞鶴市長	多々見良三
舞鶴市副市長	堤 茂
京都府港湾局長	三島 理
(一社)京都舞鶴港振興会専務理事	西山 裕樹
(先方)	
浦項市長	李康德
浦項市副市長	宋局昌
浦項市都市海洋局長	黄秉基



李康德浦項市長と会談する多々見良三舞鶴市長(写真右)

浦項市新北方政策課長	孫鍾完
浦項市観光産業課長	趙顯律

## 2020年10月30日(金) 2020北東アジアCEO経済協力フォーラムに参加

浦項市が主催する「2020北東アジアCEO経済協力フォーラム」が、オフライン及びオンラインで開催。舞鶴市を含む海外の交流都市は、事前に録画した動画を放映する形で参加しました。

《場所》パスコ国際館(浦項市)

### 《プログラム》

9:00 開会式  
 9:40 基調演説  
 「トランスとイノベーション:北東アジア時代に浦項が歩むべき道」

講師:前経済副総理 金東亮

10:00 参加都市CEO発表(録画映像の放映)  
 「新型コロナウイルス感染拡大に対する北東アジアの各地方政府の対応と協力」

発表1. 中国 琿春市長  
 発表2. 日本 舞鶴市長  
 発表3. ロシア ウラジオストク市長  
 発表4. 韓国 浦項市長

11:10 パネルディスカッション(オンライン・ライブ配信)  
 「環東海地域における経済の変化と浦項の戦略的選択」

### 【パネリスト】

(会場)  
 建国大学校教授 チン・シュエイ  
 産業研究院博士 イ・ドゥヒ 他4人  
 (オンライン)  
 ウラジオストク国立経済サービス大学長 アレクサンドル・ラトキン  
 商科大学教授 ヨシモト コウジ



演説する多々見良三舞鶴市長(録画映像)



浦項市との交流を紹介(録画映像)

# 浦項市との交流

## 2021年8月 交流10周年記念 舞鶴・浦項Web写真展を開催

舞鶴市と浦項市は、2011年の「経済交流等の推進に関する協定書」締結以降、様々な分野において交流を展開し、2021年で10周年を迎えました。これを記念し、

Webページを利用した両市を紹介する写真展を開催しました。

### ～交流10周年記念～ 舞鶴・浦項Web写真展を開催中

2021年8月10日 | ID:8862

#### 両市のWebページ上で、写真展を開催しています！

舞鶴市と韓国・浦項市は、2011年の「経済交流等の推進に関する協定書」締結以降、さまざまな分野で交流しています。今年は、交流開始から10周年を迎えるにあたり、Webページ上で、両市を紹介する写真展を開催します。開催期間は、2021年12月末までです。

浦項市のホームページでは、舞鶴市を紹介しています。詳しくは[こちらから](#)（別ウィンドウで開く）。

#### 市長メッセージ



多々良 良三 舞鶴市長

舞鶴市と浦項市は、2011年に京都市とともに「経済交流等の推進に関する協定書」を締結して以来、さまざまな分野において交流を推進してまいりました。しかしながら、現在、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により、相互訪問などの直接的な交流ができない状況が続いています。このような中でもありますが、Web写真展という形で両市の交流が実現できますことを大変嬉しく存じます。本写真展が、両市の更なる友好交流の活性化につながることを心より願っております。

舞鶴市長 多々良 良三



李 康徳 浦項市長

皆様、こんにちは。浦項市長の李康徳（イ・ガンドク）です。浦項市と舞鶴市は、かつて2011年7月に経済交流等の推進に関する協定書を締結して以来、さまざまな形の交流を重ねてまいりました。両市の友誼も今では10年ものものとなっております。ご声援くださった舞鶴市の市長の皆様、そして関係者の皆様へ、心より御礼申し上げます。この度、交流10周年を記念して、浦項市と舞鶴市がともにオンライン都市写真展を開催する運びとなりました。新型コロナウイルスにより世界中が苦境に立たされている昨今ではございますが、両都市の美しい写真を通じて今の危機を克服していく力と勇気を抱き、しばし皆様の中に息の時間となれば幸いです。10年間ともした舞鶴市が今後も協力し、共に更なる発展を遂げることができまよう。心より祈念いたします。

浦項市長 李 康徳



虎尾岬（ホニヅツ）の日の出

虎尾岬日の出広場は、毎年元旦に開催される「韓民族日の祭典」の開催場所です。青銅で作られた向かい合う大きな手のオブジェ「共生の手」は、共生と和合を象徴しています。



内峯山（ネコンサン）12米の滝

浦項市北区松福（ソンフ）と竹炭（ジャッシュン）にまたがる内峯山は12米の滝をはじめ、洞や池、奇岩絶壁がめざましい。

浦項市を紹介する舞鶴市ホームページ



舞鶴市を紹介する浦項市ホームページ

# ウズベキスタン共和国とのホストタウン交流

## 2020年7月10日(金)～8月21日(金) Noriko学級への募金活動を実施

フェルガナ州リシタン地方にある日本語学校「Noriko学級」が、新型コロナウイルス感染症の影響で運営が困難な状況に陥ったと聞き、同校を支援しようと「Noriko学級を支援する会」代表の永田立夫さんが募金活動を開始。ホストタウンである舞鶴市もこの活動に賛同し、多方面へ募金への協力を呼び掛けたところ、市内外から予想を上回る大きな反響があり、642,254円の募金が集まりました。



Noriko学級の募金活動に協力した日星高校

## 2021年1月～6月 ウズベキスタン応援動画「オルガ・ウズベキスタン」の募集・制作

ホストタウン交流の一環として、東京オリンピック出場に向けて準備を進めるウズベキスタン共和国レスリング・柔道選手団や関係者に向けた応援動画3本を制作。YouTubeの舞鶴市公式チャンネルなどで配信しました。

### 《制作動画》

#### ①市民・団体からの投稿動画(写真上)

募集するメッセージに「頑張れ ウズベキスタン」を意味するウズベク語「オルガ ウズベキスタン」を入れて一体感を創出。

#### ②舞鶴とウズベキスタンの交流の歩み紹介動画(写真中央)

#### ③市内小中高校生の合同合唱団によるウズベキスタン共和国国歌斉唱動画(写真下)



ウズベキスタン柔道代表選手団からは舞鶴市民の皆さんへのビデオメッセージが届きました。

# ウズベキスタン共和国とのホストタウン交流

## 2021年2月19日(金)～ Noriko学級で「舞鶴-ウズベキスタン～抑留から交流～」常設展示

フェルガナ州リシタン地方にある日本語学校「Noriko学級」において、舞鶴とウズベキスタンの交流に関するパネルの常設展示を実施。抑留と引き揚げの歴史が繋いだ舞鶴とウズベキスタンの縁を紹介するとともに、「東京オリンピック」のホストタウン交流、人材育成交流への展開などを紹介しています。

### 《パネル展示の概要》

- ①抑留の歴史と舞鶴への引き揚げに関する紹介パネル 14枚
- ②東京オリンピックをきっかけとした交流の始まりに関する紹介パネル 10枚
- ③未来に向かう新たな交流に関する紹介パネル 11枚  
合計35枚



交流の歴史をパネルで紹介



展示会場

## 2021年6月29日(火)～8月31日(火) 「ウズベキスタン展 in ホストタウン舞鶴」を開催

いよいよ間近に迫った東京オリンピックへ向けて、歓迎ムードを盛り上げるため、6月29日(火)から市内各所で「ウズベキスタン展inホストタウン舞鶴」を開催しました。

### 《場所》

- ①6公民館(中、西、南、加佐、大浦、城南)
- ②2図書館(東、西)

- ③文化公園体育館
- ④市役所本庁ロビー

### 《内容》 パネルや写真の展示

- ①「ウズベキスタンってどんな国？」
- ②「海外引き揚げがつなぐウズベキスタンと舞鶴の縁」
- ③ホストタウン交流(スポーツ、文化)や人材育成交流(茶栽培技術)について



市役所での展示

# ウズベキスタン共和国とのホストタウン交流

## 2021年7月3日(土) ウズベキスタン共和国「お国紹介セミナー」を開催

ウズベキスタン共和国柔道代表選手団の事前合宿歓迎事業として「お国紹介セミナー」を開催しました。

《場所》赤れんが2号棟(市政記念館)ホール

《講師》駐日ウズベキスタン共和国大使館

①二等書記官 ナジロフ・ジキリロ

②三等書記官 グリャモフ・イザティラ

《プログラム》

①舞鶴市長あいさつ

②大使館員によるセミナー

- ・ウズベキスタン共和国の概要
- ・選手団を受け入れる上で、知っているのと役に立つこと(文化、生活習慣等)

③舞鶴市のホストタウンとしての歓迎について

- ・応援メッセージ動画「オルガ ウズベキスタン」の放映
- ・事前合宿の詳細について

《参加者》まいづる市民応援団など計50人



(上)セミナー会場

(下)ナジロフ・ジキリロ二等書記官が説明

## 2021年12月5日(日) 舞鶴市長が「ウズベキスタン共和国独立30周年勲章」を受章

ウズベキスタン共和国政府から、両国の友好親善に寄与した功績をたたえ、舞鶴市長に対し「ウズベキスタン共和国独立30周年勲章」が授与されました。日本の地方自治体の首長としては初めての受章です。

《授与式》

①年月日 2021年12月5日(日)

②場 所 駐日ウズベキスタン共和国大使館

③授与者 特命全権大使  
アブドゥラフモノフ・ムクシンフジャ

④今回の受章者(7人)

- |            |       |
|------------|-------|
| ・舞鶴市長      | 多々見良三 |
| ・筑波大学学長    | 永田 恭介 |
| ・東洋大学総長    | 福川 伸次 |
| ・東洋大学学長    | 矢口 悦子 |
| ・名古屋経済大学学長 | 佐分 晴夫 |
| ・東京農工大学准教授 | 川端 良子 |
| ・北海道大学准教授  | 樋渡 雅人 |



勲章を授与された多々見良三舞鶴市長

# ウズベキスタン共和国とのホストタウン交流 2021年7月12日(月)



7月12日(月)、成田国際空港に到着した選手団は、貸切バスで舞鶴へ移動。舞鶴の到着は深夜になりましたが、笑顔を見せてくれました。



市職員や関係者約30人が「舞鶴へようこそ」とウズベク語で書いた横断幕を掲げて選手団を歓迎しました。



(上)宿泊先で朝食を取る選手団。  
(左)夕食にプロフが登場し、イリアディス・イリアスヘッドコーチから笑みがこぼれました。

# ～19日(月) 東京オリンピック柔道代表選手団事前合宿



7月14日(水)、文化公園体育館でコロナ対策を徹底した上で歓迎セレモニーを開催。選手1人1人の入場・紹介からスタートし、市内小中高校生の合唱団によるウズベキスタン共和国国歌斉唱動画の放映などを行いました。



式典中にウズベキスタン共和国オリンピック委員会とのスポーツ交流に関する覚書を交換。フィナーレでは、選手団から拍手が起きました。



(左) 選手団からの記念品を紹介するカハロフ・エリドルマネージャー。

(下) 練習会場の文化公園体育館には、看板や横断幕を設置し、選手団を応援しました。



# ウズベキスタン共和国とのホストタウン交流 2021年7月12日(月)



練習では、乱取りやコーチとの技の確認、走り込みなどを行い、合間にリフレッシュのためのフットサルやバレーボールを楽しむ姿もありました。



(左) 数字の「7」がデザインされたトレーニングウェアを着る選手団。「セーブル」というウズベキスタンのブランドで偶然にも日本語の「て」に似ています。

(右) 7月16日(金)に行われた記者会見では、選手団が本大会での抱負を語りました。

## ～19日(月) 東京オリンピック柔道代表選手団事前合宿



7月15日(木)、練習会場と宿泊先の往復に行動が制限された選手団を応援しようと、昭光保育園の園児約40人が選手団を乗せたバスに向かって園内から声援を送りました。



7月19日(月)、市役所庁舎前で、本大会の地へ向かう選手団の出発式を開催。市民や市職員約200人が参加しました。多々見市長が激励し、カミロフ会長は舞鶴での事前合宿に対する感謝の言葉を述べました。



## 銅メダルを獲得！

### 男子90kg級代表 ボボノフ・ダヴラト選手

本大会では、ボボノフ選手が3回戦で敗退しましたが、その後の敗者復活戦を勝ち上がり、3位決定戦でトルコ代表選手に体落として1本勝ちを収め、銅メダルに輝きました。



©2021 ウズベキスタンオリンピック委員会

# ウズベキスタン共和国との人材育成交流

## 2020年2月18日(火)～24日(月) ウズベキスタン共和国に茶栽培調査団を派遣

舞鶴市とリシタン地方との覚書の合意事項である「茶の栽培技術の普及」に関し、事業の始動に不可欠な推進体制の構築、事業計画策定に係る協議、現地情報の把握を行うことを目的として、関係課職員を現地に派遣しました。

### 《調査団》

①舞鶴市みなと振興・国際交流課長 小島 宏  
②舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長

渡瀬 弘樹

③舞鶴市みなと振興・国際交流課 坪内 善紀

### 《日程》

2月18日(火) タシケント市着

2月19日(水) JICAウズベキスタン事務所訪問、ウズベキスタン日本人材開発センター訪

問、JETRO タシケント事務所訪問  
2月20日(木) タシケント国立農業大学及び農業省との協議、タシケント市発、農場視察(コーカンド)、フェルガナ市着

2月21日(金) フェルガナ州政府との協議

2月22日(土) 看護学校への説明会(リシタン地方政府庁舎)、リシタン地方政府との協議、Noriko学級生徒及び保護者への説明会(近畿能開大京都校&特定技能(介護)について)

2月23日(日) フェルガナ市発、タシケント市着、タシケント市発

2月24日(月) 仁川着、仁川発



タシケント国立農業大学との協議



リシタン地方政府との協議

## 2020年12月11日(金)～13日(日) Noriko学級生徒が来訪

舞鶴市とリシタン地方との覚書に基づき、「産業技術人材育成」分野の交流の一環として、Noriko学級の生徒が市内の近畿職業能力開発大学校京都校を受験する希望があり、4人の訪問団を受け入れました。

### 《訪問団(Noriko学級生徒)》

- ①イシモイロフ・イザティロ
- ②イギタリエフ・シャフゾッド
- ③トジボエフ・ミルゾラフマット
- ④ボボエフ・ハミドゥロ

### 《受入日程》

12月11日(金) 大阪市(滞在先)→舞鶴市

12月12日(土) 近畿能開大京都校受験

12月13日(日) 引揚記念館見学  
令和元年ウズベキスタン市民訪問団員との交流  
舞鶴市→大阪市(滞在先)



舞鶴を訪れたNoriko学級生徒

# ウズベキスタン共和国との人材育成交流

## 2021年2月19日(金) 舞鶴市長とリシタン地方長官によるオンライン会談

舞鶴市とリシタン地方との覚書に基づき、①産業技術の習得を目的に近畿職業能力開発大学校京都校へ留学する方、②介護福祉の即戦力として特定技能(介護)資格により市内介護施設で就労する方に対し、渡航費や生活費の一部などを支給する制度の創設を予定しており、この内容をリシタン側へ伝達し、優秀な外国人材の市内就労・定住に向けての協力体制を確認しました。

《場所》市役所本館3階301会議室

Web会議システムZoomを利用

### 《出席者》

(当方)

- |         |       |
|---------|-------|
| ①舞鶴市長   | 多々見良三 |
| ②舞鶴市副市長 | 堤 茂   |
| ③舞鶴市副市長 | 山口 寛士 |



オンラインを介して会談する多々見良三舞鶴市長

(先方)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| ①リシタン地方長官      | ソリエフ・スフホンジョン |
| ②Noriko学級校長    | ナジロフ・ガニシエル   |
| ③近畿能開大京都校留学予定者 | 3人           |

## 2021年3月20日(土)～31日(水) 茶の試験栽培のための苗木輸送

舞鶴市とリシタン地方との覚書の合意事項である「茶の栽培技術の普及」に関し、現地で茶の試験栽培を行うため、苗木をウズベキスタンに輸送しました。苗木はリシタン地方をはじめ栽培候補地に新植し、試験栽培を開始しました。

### 《協力者》

- |                           |                |          |
|---------------------------|----------------|----------|
| ①埼玉県茶業研究所                 | 茶業技術研究担当 専門研究員 | 高橋 淳     |
| ②東京農工大学                   | 准教授            | 川端 良子    |
| ③タシケント国立農業大学教員(東京農工大学留学中) |                | シエルゾッド 他 |

### 《輸送日程》

3月27日(土) 大阪発

3月31日(水) タシケント着

### 《輸送品目》

- |     |              |
|-----|--------------|
| ①苗木 | さやまかおり、ふくみどり |
| ②種子 | さやまかおり       |



(上)輸送のための準備作業  
(下)輸送前の苗木

# ウズベキスタン共和国との人材育成交流

## 2021年4月1日(木) 産業技術人材・介護福祉人材育成支援制度を創設

リシタン地方から、産業技術の習得を目的に近畿職業能力開発大学校京都校へ留学する方、市内介護施設で就労する方に対して、渡航費や生活費の一部などを支援する「ウズベキスタン人材育成支援制度」を創設しました。

### 《制度概要》

①近畿職業能力開発大学校京都校への留学支援

対象者：リシタン地方との覚書に基づく同校入校者



近畿能開大京都校を見学するNoriko学級生徒

支援内容：

・来日渡航費及び入学支度金150,000円の支給

・生活費15,000円/月の支給

②介護施設就労者への就労支援

対象者：リシタン地方との覚書に基づく市内介護施設での就労者

支援内容：

・来日渡航費及び就職支度金150,000円の支給



介護施設を見学するNoriko学級のナジロフ・ガニシエル校長

## 2021年12月11日(土) ウズベキスタンセミナーを開催

NHK総合「『ニッポンで頑張る!』を応援します交友記」に出演したウズベキスタン人留学生のウタエフ・ラジズさんとご親戚のムルタゾエフ・ジョニベックさんが来訪。留学事情について語るウズベキスタンセミナーを開催しました。

### 《場所》

Coworkation Village MAIZURU(赤れんが3号棟2階)

### 《内容》

①「『ニッポンで頑張る!』を応援します交友記」放映

②ウタエフさんによる講演

③舞鶴市とウズベキスタン共和国との人材育成交流の取り組み紹介

《参加者》約20人



発表するウタエフ・ラジズさん



舞鶴滞在中に引揚記念館を視察

# 京都舞鶴港を活用した貿易振興

## 2020年1月17日(金)～21日(火) 中国駐大阪総領事館主催 第二回「対話遼寧」訪問団に参加

中国の遼寧省をはじめとする東北地方と日本の関西地方との交流・協力を目的として中国・瀋陽市で開催された「第二回対話遼寧」に参加。対中ビジネス実施企業との関係構築や京都舞鶴港のプロモーション活動を行いました。

### 《訪問者》

舞鶴市産業振興部産業創造室長 小森 実  
(一社)京都舞鶴港振興会常務理事 新宮 敦雄

### 《日程》

1月17日(金) 大阪発、瀋陽市着  
1月18日(土) 遼寧・関西経済貿易交流会及び遼寧・関西経済貿易協力商談会参加  
分科会(経済貿易商談会、金融交流会、友好交流フォーラム)参加  
瀋陽日本産業パークセミナー参加

1月19日(日) 企業訪問、瀋陽市内視察、大連市へ移動  
1月20日(月) 大連市内視察、大連-関西交流協力大会参加  
1月21日(火) 大連市発、大阪着



遼寧・関西経済貿易交流会

## 2020年2月18日(火)～22日(土) ミャンマー視察団に参加

ミャンマーとの貿易増加を見据え、現地の港湾事情や経済状況を視察する「ミャンマー視察団」に参加。現地企業や日本の港湾物流企業との関係構築・強化を図りました。

### 《訪問者》

(一社)京都舞鶴港振興会常務理事 新宮 敦雄

### 《日程》

2月18日(火) 大阪発、ヤンゴン市着  
2月19日(水) JETRO 及び企業訪問  
2月20日(木) 港湾施設視察、日系企業訪問  
2月21日(金) 工業団地視察、ヤンゴン市発  
2月22日(土) 大阪着



現地企業(シャンプー製造設備)を視察

# 京都舞鶴港を活用したクルーズ客船の誘致

## 2020年10月5日(月)～9日(金) Seatrade Cruise Virtual 2020に参加

世界のクルーズ業界関係者が一堂に会する「シートレード・クルーズ・グローバル」やアジア最大のクルーズ・コンベンションである「シートレード・クルーズ・アジア」等に代わり、オンラインで「Seatrade Cruise Virtual 2020」が開催され、京都舞鶴港のブースを出展。情報収集やクルーズ客船の誘致活動を行いました。

### 《参加者》

舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小島 宏
京都府経済交流課長補佐兼係長	澁谷五早代
京都府経済交流課主任	林田 牧子
海の京都DMO商品企画・マーケティング部長	松田 好朗



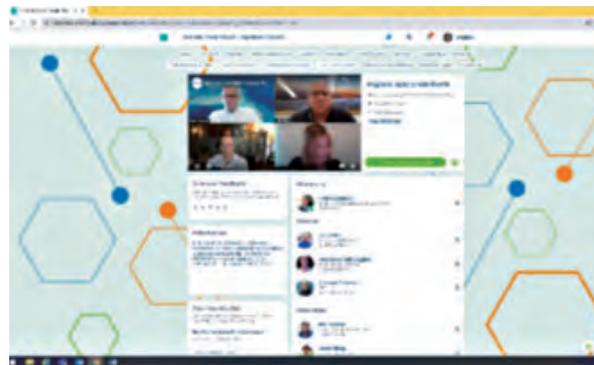
京都舞鶴港ブース

## 2021年3月8日(月)～10日(水) Seatrade Cruise Virtual 2021 Expedition Cruisingに参加

オンラインにより、探検船に焦点を当てたクルーズ・コンベンションが開催され、情報収集やクルーズ客船の誘致活動を行いました。

### 《参加者》

舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小島 宏
京都府経済交流課主任	林田 牧子
海の京都DMO商品企画・マーケティング部長	松田 好朗



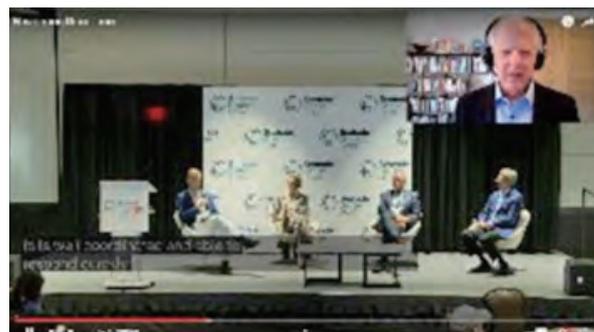
コンベンションの様子

## 2021年9月27日(月)～10月1日(金) Seatrade Cruise Global2021に参加

オンライン及びオフラインで、クルーズ・コンベンションが開催され、情報収集やクルーズ客船の誘致活動を行いました。

### 《参加者》

舞鶴市みなと振興・国際交流課長	小島 宏
京都府経済交流課主任	林田 牧子
海の京都DMO商品企画・マーケティング部長	松田 好朗



コンベンションの様子

## その他国際交流

### 2020年1月17日(金)、8月23日(日) 多文化共生講演会を開催

多文化共生社会の理解促進のため、「多文化共生講演会」を開催。多くの市民の皆さんに参加いただきました。

#### 《1月17日》

場所：西駅交流センター3階

講師・演題：ダイバーシティ研究所参与 井上 洋  
「地域におけるダイバーシティ推進の意義と課題」

#### 《8月23日》

場所：中総合会館4階

講師・演題：

- ①京都府国際センター事業課長 近藤 徳明  
「京都府における外国人住民の現状」
- ②ダイバーシティ研究所参与 井上 洋  
「振り向けば外国人がいる社会」
- ③名古屋YWCA総幹事 事務局長 磯村美保子  
「ことばと心の壁を取り除く人～地域日本語ボランティア」
- ④舞鶴国際交流協会  
「MIAにほんご教室活動紹介」



講演会(8日23日)

### 2020年7月6日(月) JICA海外協力隊員がオンラインで市長表敬訪問

独立行政法人国際協力機構(JICA)の海外協力隊員として、パラグアイ共和国に派遣された舞鶴市出身の橋口奈奈穂さんが、舞鶴市長をオンラインで表敬訪問しました。橋口さんは2017年9月から2年間、同国で学校給食の調査活動などを実施。画面上で現地での体験を報告しました。



オンラインで活動報告する橋口奈奈穂さん(画面右)

## その他国際交流

### 2020年8月29日(土) 日星高校が出前講座「多文化共生」に参加

日星高校の特進クラス1年生11人が多文化共生について学ぶため、市が主催する出前講座に参加。外国人の在留制度や市内に在住する外国人について学習するとともに、舞鶴国際交流協会が主催する「にほんご教室」に参加し、外国人受講生と意見交換などを行いました。



ベトナム人と交流する日星高校生徒

### 2020年10月に計5回、2021年12月に計5回 「日本語支援ボランティア養成講座」を開講

在住外国人を対象とした日本語教室の継続的な運営のため、新規日本語支援ボランティアを養成する講座を開講。各年5回の講座に計48人が受講しました。



講座(2020年10月18日)

## その他国際交流

### 2020年11月6日(金)～8日(日)、2021年11月5日(金)～7日(日) 舞鶴ユネスコ協会が「わたしの町のたからもの」絵画展を開催

舞鶴ユネスコ協会が、ショッピングセンターらぼーるで、「わたしの町のたからもの」絵画展を開催。市内の幼稚園、小・中学校の作品のほか、姉妹・友好都市であるロシア・ナホトカ市、中国・大連市の子どもの作品が展示され、多くの来場がありました。



展示会場(2021年11月5日)



大連市の絵画(2021年11月5日)



ナホトカ市の絵画(2021年11月5日)

### 2021年9月26日(日) 海軍鎮守府開庁120周年記念 東郷邸にイチョウを植樹

旧海軍舞鶴鎮守府開庁120周年を記念し、初代司令官を務めた東郷平八郎元帥ゆかりのイチョウの植樹式が東郷邸で行われました。イチョウは東郷元帥が英ウェールズ滞在時に日本政府が贈り、現地で大切に育てられ、地元の郷土史家が故郷の日本に帰そうと挿し木された苗木を本市に贈ったものです。植樹式には、多々見良三舞鶴市長、伊藤弘海上自衛隊舞鶴地方総監、キャロリン・デイビッドソン在大阪英国総領事らが参加しました。



イチョウを植樹する関係者

## その他国際交流

### 2021年10月31日(日) 舞鶴国際交流協会が「多文化共生講演会」を開催

舞鶴国際交流協会が、西市民プラザで「多文化共生講演会」を開催。福知山公立大学国際センター長の渋谷節子教授が多文化共生の課題や実現に向けた考え方について講演しました。高校生を含む市民ら65人が参加しました。



講演する渋谷節子教授

### 2021年12月22日(水) JICA海外協力隊員がオンラインで舞鶴市役所を表敬訪問

独立行政法人国際協力機構(JICA)の海外協力隊員として、2022年1月から2年間、チュニジア共和国で活動される舞鶴市出身の志馬咲子さんが、市役所をオンラインで表敬訪問。派遣前の報告を行いました。志馬さんは、現地でリハビリが必要な障害児・者の発達課題に合わせたプログラムの作成及び実施運営を行う予定です。



オンラインで意気込みを語る志馬咲子さん(左下)

### 2020年～21年(通年) 国際交流員による出前講座を開催

異文化理解を促進するため、ウズベキスタン人国際交流員のレ・アルトゥルさんが講師として、出前講座を年間を通じて開催しました。



シオン幼稚園で講義するレ・アルトゥル国際交流員

# その他国際交流

## 外務省勤務録

～4年間の派遣を終えて～

みなと振興・国際交流課付 池田 好宏

2016年4月から2019年7月までの4年と3カ月間、外務省と地方自治体の人事交流事業の一環として同省に派遣。外務本省で2年間の勤務後、中国・大連市にある在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所で2年3カ月間勤務。日中関係の最盛期から新型コロナウイルス感染症拡大による交流の一時停止に至るまで、目まぐるしい外交の現場を経験。その貴重な体験を紹介したい。

### 1. 外務省中国・モンゴル第二課での勤務

#### (1) “不夜城”と称される政治の中心地、霞が関

2016年4月1日、満開の桜が立ち並び、外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第二課に着任した。京都府を出て生活をしたことがない自分が、東京、それも日本の中核機関が集まる霞が関で勤務することになった。急な環境の変化に実感が湧かないまま、慣れない満員電車で揺られ、霞が関に降り立ち外務省の門をくぐった。強い緊張感の中、人事課で辞令を受け執務室に入ると、室内は大変騒々しい雰囲気、ピリピリと緊張感が漂っていた。丁寧な挨拶をする雰囲気ではなかったため、課長、首席事務官、課員の前で手短かに挨拶をし自席についた。私が勤務する中国・モンゴル第二課は、日本と中国・モンゴルとの間の経済に関する政策を所管する省内でも特に多忙な部署であり、第一課（政治を所管）と合わせて、40名以上が執務をする大きな組織であった。私の着任時は、2012年からの日中関係の停滞以降、約4年半ぶりの岸田外務大臣（当時）の訪中及び外相会談を4月末に控え、また2017年の国交正常化45周年、2018年の平和友好条約締結40周年を前に、日中関係の雪解けから関係改善、発展へと盛り上がりつつある非常に重要で多忙な時期であった。着任2日目には、省内や担当する他省庁から怒涛のように電話やメールが届き始めた。次々回ってくる決裁文書には「急」や「大急」という決裁の優先度を示す赤い札がついており、特に「大急」の決裁は、渡されたらすぐに目を通す必要がある。ある時、私が上司である首席事務官に案件を相談したところ、「大急案件だから2分以内に決裁を回して！」と殺気立った形相で指示を受け、自席に走って戻り、大至急で取りかかることもあった。政府幹部や大臣の発言資料等重要案件が多い中、資料作成や決裁事務にはスピード感だけではなく精度も要求される。最初は只々圧倒されていたが、これが外交の第一線である外務省、省員1人1人のこの働きにより日本の外交が支えられていると納得し、1日も早く環境に慣れるよう決意し勤務に臨んだ。着任後2週目には、国会当番（国会での質問答弁の決裁や合議を担当）が回ってきた。国会は、1月に招集され6月頃まで続く（時には延長もある）が、日中関係は世間の注目度が高いことから主管となる質

問や合議対象の問いも多く、答弁作成の調整が深夜に及び終電やタクシーで帰る日が多々あった。“不夜城”と称される霞が関、2年の間には、その眠らない官僚を十分過ぎる程経験する機会があった。



安倍総理訪中時の日本政府専用機前で(中国成都市)

#### (2) 幅広い担当分野と外交ルート

私は、所属する経済班の中で、日中の「水産（漁業）、観光、科学技術・宇宙、航空」等、想像もしていなかった多岐に渡る業務を言い渡され、更に台湾班も兼務となった。水産関係以外の業務は、基本的に自分だけが担当となり、1人が背負う責任の重さに驚いたが、ここは優秀な人材の集う外務省、省員と同等以上の働きをするよう、必死に他省庁や他課の話を聞いてメモ帳を埋め尽くし、分からない事は徹底的に調べ、理解するよう努力した。なお、日常的な業務の1つに、水産庁からの依頼を受けて、外務省から中国側に、漁業資源の管理について協力をするよう外交ルートで伝達するものがあった。資源の枯渇が懸念されるサンマやイカ、ウナギ等に関し、乱獲を抑制させ、資源保護に協力するよう働きかけるもので、中国側漁業当局が、何らかの措置を講じる（漁業者への周知等）よう、改善策を提示したり、統計的な根拠を示したりと粘り強く伝達を続ける。このように、省庁間で意思決定をし、外務省本省から現地への在外公館経由で中国側に伝達する（在外公館の担当者が中国政府と面会し伝達する）というのが、外国政府への基本的な伝達手段であり、時には様々な分野の協力について前向きな話をするが、時には日本として国益を損なわないために抗議をする。外務省は政府を代表して世界各国へ発言をする唯一無二の役割を担い、これが外交ルートと呼ばれる伝達方法であった。2年の間の私の担当業務においては、中国と前向きな話ばかりできれば良かったが、残念ながら、特に水産（漁業）関係においては、強く要請しないといけない場面も多々あった。

#### (3) 息を呑む緊張感、中国との海洋協議

外務省の業務は緊張の連続であったが、最も緊張し、精神力を要したと言えるのが、前述の水産関係（漁業）分野で日中高級事務レベル海洋協議や日中漁業共同委員会等に

## その他国際交流

出席をした時のことだ。日本と中国の間では、日中漁業協定に基づき相互入漁が行われており、その操業条件や東シナ海の一部の水域等における資源管理について、委員会や協議を行う場があるが、お互いの利益が絡む交渉は、毎回長時間に及ぶ大変困難なものであり、特に中国に資源管理等について抗議を述べる場面は非常に緊迫した空気になる。上司に同行し協議に何度か出席したが、勤務2年目には、外務省から1人で海外出張し、水産庁と漁業協議に出席する命を受けた。その際、予定にはなかったが、水産庁の代表者から「外務省からも発言をしてほしい」と急遽要請を受け、緊迫する空気の中、資源管理に関する発言を行った。在外公館経由での伝達とは異なり、自分1人の言葉が外務省を代表した発言であると思うと非常に緊張したが、必要な発言をすることができ、水産庁から感謝され、帰国後も省内で堂々と報告することができた。これ以外にも外務省本省勤務時には、北京、天津、海南島、台北と何度か会議のために出張する機会があった。海外出張には憧れがあったが、出張先では終始会議の事が頭から離れず、緊張感を拭えないままの滞在ばかりであり、2国間協議等の現場を知る貴重な機会ではあるが、気が休まる時間は少なく、海外を楽しむ余裕が全くない、憧れとは異なる過酷なものであった。

### (4) 5つの協力分野と外交の成果

私の担当業務の1つである「観光」に大きな動きがあった。2016年4月末、岸田外相が訪中し、王毅外相と会談を行った結果、日中関係の肯定的な協力として「観光」を含む「5つの協力分野」について提起がなされ、同年、安倍総理と習近平国家主席との会談でも前向きな話題となった。首脳級や閣僚級の会談に限らないが、2国間や多国間での会談が行われた場合、「成果」が結果として合意され、その成果の積み重ねが、国家間の協力強化と関係の発展へと繋がる。外相会談の成果として「5つの協力分野」が提起され、自分の担当である「観光」が協力分野の1つとなったことで、次の成果に繋げるために日中の観光協力を更に押し進める事が私の使命となった。それ以降、定期的に課長から5つの協力分野に関する会議が招集され、協力を盛り上げるためのタマ（中国側に打ち出す具体的な案件）の相談を行い、観光庁と会議を行った。観光分野については、日中関係が盛り上がる中、訪日旅行を希望する中国人は増

え続け、査証（ビザ）の要件緩和、地方航空便の増加、クルーズ人気等の要因もあり、前向きな分野として特に良い実績を継続できた。（訪日中国人数は、2019年には年間959万人に到達。その消費活動によって日本に大きな経済効果をもたらした。）2016年11月には、日本で日中の国土交通大臣会談が実現し、観光の更なる協力に関する覚書を交わすこととなった。この覚書については、観光庁の担当者から、会談に間に合うよう大至急の決裁を依頼され、国際法局（国際法を所管する外務省の部署）に決裁を持ち回り説明する等の汗をかいたが、日中の周年を前に、まさに前向きな「成果」を残す事ができ、2国間の覚書署名という国益に繋がる一助となれたことに、大きな達成感を感じた。なおこの時点では、新型コロナウイルス感染症により、世界中の往来がここまで停止する事態になると全く予想しておらず、このまま訪日中国人数は年間1,000万人を超え、東京五輪を機に更に爆発的に往来が増え、好循環がいつまでも続くと思いきや、2021年は11月までの訪日中国人数が40,500人のみに止まった。）

### (5) 外務本省での2年間を終えて

外務本省での2年間は、幾度となく想像を上回る緊張感、危機感、達成感を感じる場面があったが、厳しい環境の中で外交のスペシャリストと共にあらゆる場面を乗り越え、外交に関するノウハウと大きな自信を得ることができ、何事にも動じない度胸が身についた。無我夢中で、中国との協力強化、課題解決に取り組み、少なからず日中関係発展の一助として貢献できたと思う。本省離任時には、上司から「2年間本当に色々あったね。お疲れ様。」と言われ握手をすると、苦労した様々な事案が思い起こされ、感極まって涙を流してしまった。自分の一生の糧となる経験、大きな財産となった2年間であった。

## 2. 在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所での勤務

### (1) 舞鶴市の友好都市「大連」という街

2018年4月29日、成田空港からANA国際線に搭乗し、中国大陸に向け飛行すること2時間50分、中国遼寧省大連市の周水子空港に到着し、“在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所”に着任した。大連市は、歴史的に日本との関係が特に深く、市民の日本文化への理解も良好、長期在留邦人数は約4,700人、進出日系企業数約1,500社（世界3



大連市と舞鶴市の友好10周年記念碑（大連市中山公園）



文化発信行事で日本酒や日本の地域の魅力を紹介

## その他国際交流

位)と多くの日本人が生活をしている。舞鶴市とは、1982年に友好都市として締結以来、友好交流や往来を続けてきた長い歴史があり、私自身も舞鶴で勤務歴のある大連の国際交流員と交友があることから、大変身近に感じる都市であった。街には高層マンションやビルが立ち並び、地下鉄、バス、タクシー等の交通網が発達した人口595万人の大都会でありながら、20世紀初頭に日本人が設計した旧大和ホテルをはじめとする建築物や70年以上走るレトロな路面電車等、歴史的景観が残された懐かしい雰囲気のある街でもあった。大連人も味を好むことから日本料理屋が多く、着任初日の昼食には、前任者と肉うどんを食べ、その日本と変わらぬ味に、入国時の緊張から安心させられたことを覚えている。

### (2) 大連領事事務所での業務

勤務場所となる大連領事事務所は、多くの日系企業が拠点を置く日本の森ビル系列の建物(森茂大廈)にあり、本官(日本人職員)と現地職員(現地採用の中国人職員)が約30名勤務している。在外公館には、首都に置く大使館、主要な都市に置く総領事館、出先機関として置く領事事務所等があり、領事事務所は、その地方の政府との交渉や連絡、政治・経済等の情報収集、日本の広報文化活動、邦人の生命・財産の保護や旅券の発行、外国人への査証(ビザ)の審査・発給等を行っている。私は、領事班(旅券や査証を担当)に配属され、地方交流担当も兼務となった。私が大連に着任した2018年は、前述のとおり日中関係の最盛期で、8年ぶりの李克強総理訪日や、安倍総理訪中による相互往来と首脳会談が重ねられ、前向きな成果ばかりが報道されていた。そんな中、好感度の高い日本への訪問を希望する中国人の査証申請数もペースを落とすことなく増加を続け、大連人への年間査証発給数は2014年の6万3千件から2019年には過去最高の16万8千件までに達した。特に、中国の祝日である1月・2月の春節(旧暦の正月)、10月の国慶節(中国の建国記念日)や4月の花見シーズン前は、訪日観光の査証申請資料が、同室の館員の顔が見えなくなる程机の上に山積みされた。最初は驚いたが、日中交流や日本経済に貢献する嬉しい忙しさであると自身に言い聞かせ、一心不乱に審査・発給を行った。なお申請者の中には、資料を偽造し、不正を働こうとする者もいるが、多忙でも公正な審査ができるよう、優秀な現地職員との協力のもと、細心の注意を払っていた。

### (3) 明るく賑やかな大連人との交友

2年間の駐在中には、数多くの大連人と友人になった。中国人は家族や友人との人間関係を特別大事にする人情味溢れた性格であり、特に大連と縁が深い舞鶴から来た私は、着任時から熱烈に歓迎していただいた。親しい友人と大連料理や火鍋、羊肉の串焼きを囲みながら、時には白酒や大連麦酒で何度も“乾杯”(毎回飲み干すのが中国の習慣)を重ね、とても愉快的な時間を過ごした。中国の旧正月である春節には、友人から実家に招待を受け、餃子作りをしたり、

正月番組(中国版吉本新喜劇のような舞台)を見たり、邪気払いのために家の外で花火や爆竹を鳴らしたりと、伝統的な習慣や文化体験を満喫させてもらったことは大変思い出深い。明るく賑やかで、思いやりのある大連の友人のおかげで、大連での駐在生活が楽しく充実したものとなったことに、心から感謝をしたい。

### (4) 大連は日本との地方交流が非常に活発

大連市は、日本の地方との交流が活発であり、大連アシア祭り、サマーダボス会議、大連日本商品展覧会等、日本から訪問団が来るイベントが多数あった。また、1年を通して日本の文化紹介を行うイベントが多く、領事事務所でも日本紹介ブースを出展し、日本酒の試飲PRや、舞鶴市を含む日本の地方の観光・文化紹介を行った。イベントでは、次の旅行先を探すために、足を止めて話を聞き入る人が多く、特に日本への好感度・関心の高い大連において、日本のまだ知られていない新しい魅力を発信する地方交流は、非常にやりがいのある業務であった。

### (5) 安倍総理の中国出張への対応

大連での駐在が1年半経過した2019年12月、安倍総理が日中韓サミット出席のため中国出張をする際に、大連から応援出張に行く命を受けた。場所は中国西南部の四川省成都市。大規模な人員を要する出張案件には、その国の在外公館から人員が集められ対応をする事がある。今回その役が突然私に回ってきたのだ。慣れない地で、初の総理出張対応、配属はプレス班と初体験づくしであったが、未知なる経験に期待を抱き現地に向かった。ロジ室(事務を行うホテルの部屋)に集まった出張対応者は総勢100名以上、総理が成都に到着した後、日本人記者による取材が円滑に進むよう、中国側と調整を行うことがプレス班の役割であった。私は、まず総理の空港到着時の取材調整と記者の誘導を担当した。取材は、総理が政府専用機から降機する所を、先に降機した記者がうまく撮影できるように調整するものであったが、通常一般人は入れない滑走路付近での撮影であり、またVIPの安全確保のため中国側警備担当が難色を示す懸念があった。四川省の地方政府に細かい配置図を示し事前調整を試みるも、地方都市であるが故にVIP対応に慣れていない節があり、明示的な結論が出ないまま、現場での最終調整を覚悟し、当日の総理到着時間の夜を迎えた。不安は的中し、日本側から提示した配置が中



安倍総理と出張対応者との集合写真(後列左から3番目が私)

## その他国際交流

国側に認められていなかった。その場で強く要請し、提示と異なる位置ではあるが撮影自体は可能となり、何とか事なきを得た。まさに首の皮一枚繋がった瞬間であった。その後、降機する記者の誘導係に就いた。車両が30台以上ある上、総勢40名の顔も知らない記者を間違いなく誘導する必要があったが、事前調整した記者リストに基づき、ナンバーカードを頭上に掲げ、エンジンの騒音と風音が唸る中、降機してくる先導役の報道担当者の名前を大声で叫び、脇目も振らず車両に誘導した。無線で、乗車完了の合図を出し、総理車両、日本側警護車、中国側警護車、大使館車両等の30台以上に及び長距離の総理一行車列が動き出した。最初の取材を無事に終え、宿舎で安堵したのは夜中24時を回っていた。その翌日以降も日中韓サミットや視察地での記者リストの調整、総理の帰国便出発時の取材用務を担当したが、中国側担当者との調整はいずれも難航し、想定外な事案が続いた。在外勤務も1年半を終え、中国勤務に慣れた気ではあったが、日本語人材が多く、協力的な外事弁室を有する大連市は特別であり、見知らぬ地方での調整の難しさを改めて痛感するものだった。成都への応援出張は、自分が思い描いていたような活躍が出来ず不完全燃焼なまま終わってしまったが、日中韓サミットは順調に行われ、3カ国の首脳により合意文書が成果として発出された。総理訪中という貴重で壮大な規模の対応を経験でき、また日中韓首脳が集う歴史的瞬間の一助となれたことは、応援出張に来られたからこそであり、非常に貴重な経験をした機会であった。

### (6) コロナ禍の中での現地日本人への支援

2020年1月9日、中国衛生当局が、中国武漢市で起こった原因不明の肺炎発症に関する病原体を“新型コロナウイルス”と発表した。当初は、広大な中国の遠い地で起こった出来事の1つとしか思っていなかった。しかし数日後の1月22日、大連市でも感染者が確認され始めた。感染症の蔓延は止まることなく、大連でも日本より先行して、外地から戻る者の待機措置が開始され、また住民への厳格な感染予防措置として、商業施設、職場、地域や自宅の入口で係員が体温を測定し、37度3分以上ある場合、自宅に入ることさえできず、病院にかかることを求められた。また、各地域や建物において、検温に加えて、通行証や入場アプリでの確認が始まり、地域単位での封鎖管理（地域外の者を中に入れない）の措置が執られた。飲食店には店内サービスを禁止する通知が出され、街は閑散とした。迅速で徹底した強制力のある感染防止策により、大連での平和な在外生活は突如として一変した。市民に対する規制の通知や政策は、当局から次々と公式微信（LINEの公式アカウントのようなもの）で大衆に発出された。大連領事事務所では、その通知を翻訳して邦人に領事メール（在留邦人や旅行者が登録をする在外公館からの連絡ツール）を送り、連日情報共有を行った。私も領事班として、邦人の不安を払拭するために、休日や夜も厭わず、メールを作成し迅速な情報

共有に努めた。3月に入り、年度末の私の離任発令が近づいた頃、中国外交部から訪中査証の効力停止と国際航空路線の運航制限等が発表され、私の離任と後任者の着任は、制限が緩和されるまで延期となる事が決定し、最終的に後任者が着任するまで状況が改善したのは6月のことであった。私はその着任と隔離待機の支援を行い、当初より2カ月程遅れて7月に日本に帰国をすることができた。なおコロナ禍の中で唯一良かったと言える事は、大連市と舞鶴市を含む日本の地方自治体との医療物資支援による交流である。お互いに医療物資が不足する中、友好都市として、助け合い激励し合い、絆を深めることができた。この際、舞鶴市の医療物資に書かれていた“青山一道同雲雨、明月何曾是兩鄉”（離れた場所にいっても、同じ空の月を眺める両者は仲間である。）の漢詩は、中国全土で大反響を呼び、日本でも報道され話題となった。



大連空港での舞鶴からの医療物資の受け取り(右端が私)

### (7) 大連での勤務を終えて

大連での時間は瞬く間に過ぎていった。本省勤務時に積みあげてきた日中交流の成果が花を開き、友好ムードが最高潮に盛り上がる中で大連生活が始まり、査証も地方交流も大変やりがいある環境で役目を全うできた。任期終盤には、新型コロナウイルス感染症拡大により波乱の展開となったが、領事事務所のチームワーク、大連市外事弁室との協力により、邦人の健康と生活を守るために尽力できた。特に、検疫措置により日中の航空便を制限する発表がなされた際は、中国全土の多くの日本人が、玄関口として残された当地大連に集い助けを求める中、外事弁室との協力により出入国のための乗継支援等を行い、多くの邦人の帰国を手助けすることができた。大連生活においては、多くの人間関係を構築することができたが、特にこのコロナ禍を乗り越えるための共闘で、大連市外事弁室との間でも生涯忘れることのない戦友としての記憶が胸に刻まれた。2022年1月現在、発生から2年経過した今でも新型コロナウイルスの脅威は残り、海外との往来は完全な再開となっておらず、またそれ以外にも社会問題や国際的な立場等から、日中関係は最盛から変動しつつある。日中国交正常化50周年、また大連と舞鶴の友好都市締結40周年にあたる本年、この4年3カ月間の外務本省及び大連領事事務所での勤務経験や、構築した人間関係・信頼関係を活かし、この佳境を乗り越え、地方から日中交流の機運を高めていけるよう尽力していきたい。

## 各種ホームページの紹介

姉妹都市・友好都市のホームページや海外安全情報などのホームページを紹介します。  
いろいろな情報の検索に便利ですので、ぜひご活用ください。

<https://www.nakhodka-city.ru/>

ナホトカ市のホームページです。ナホトカ市の歴史・教育・産業・経済自由区や観光案内などを検索することができます。(ロシア語・一部英語版あり)

<https://www.dl.gov.cn/>

大連市のホームページです。大連市の概要・投資ガイド・観光案内などについて検索することができます。(中国語・英語・日本語版等)

<https://www.portsmouth.gov.uk/>

ポーツマス市のホームページです。観光案内・市役所の仕事などについて検索することができます。(英語版)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省のホームページです。在外公館のニュースや安全情報を検索できます。(日本語・英語版等)

<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/>

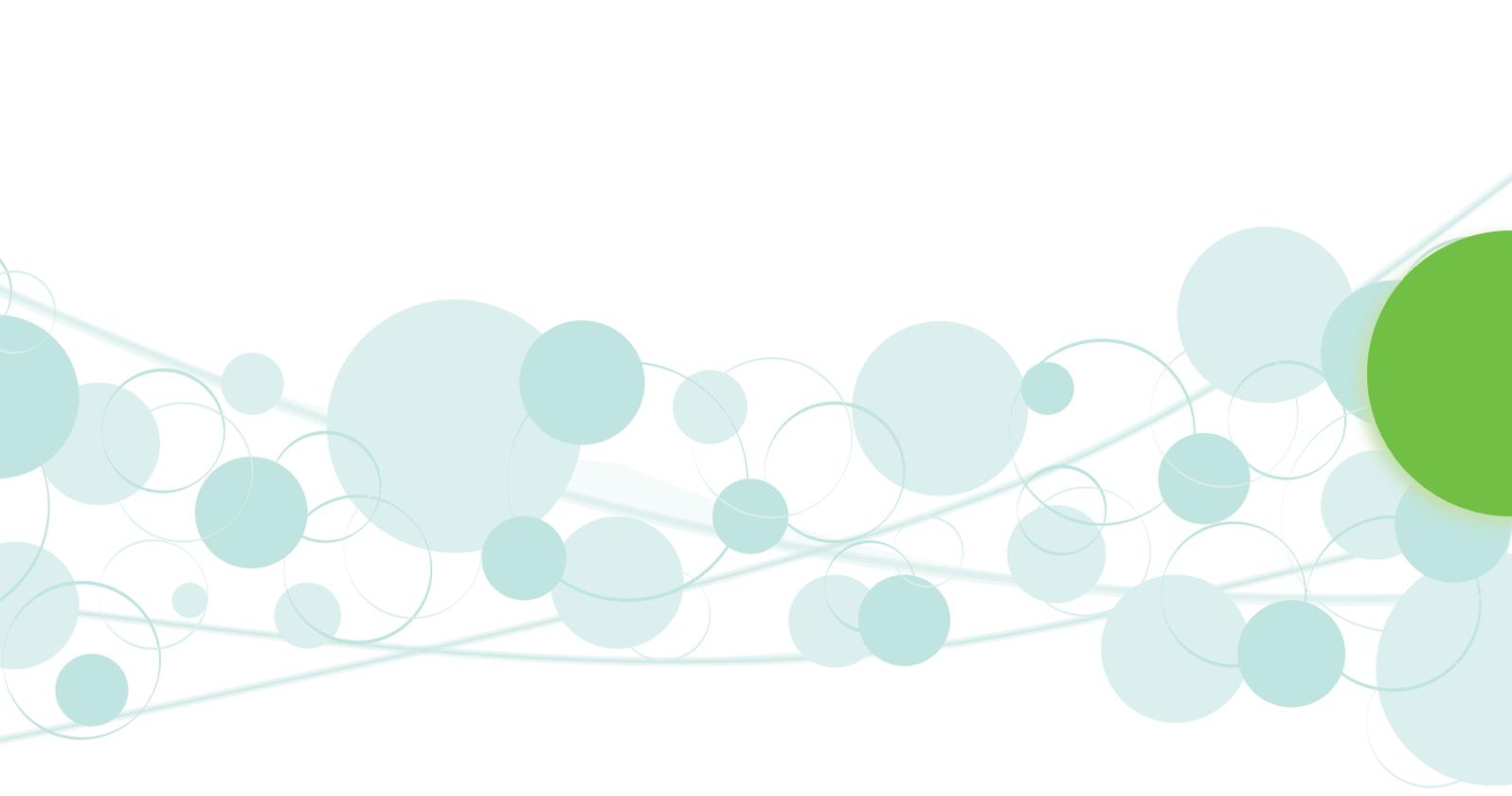
舞鶴市のホームページです。姉妹・友好都市との交流や市政全般の情報を検索することができます。(多言語自動翻訳システムを導入)

<http://www.npomia.com/>

NPO法人舞鶴国際交流協会のホームページです。在住外国籍市民との交流や支援などを中心に活動を展開しています。

<https://www.port.maizuru.kyoto.jp/>

一般社団法人京都舞鶴港振興会のホームページです。京都舞鶴港の概要や定期航路、クルーズ客船、港湾施設等についての情報が掲載されています。



---

## 国際交流 2020-2021

舞鶴市国際交流報告書

2022年3月 印刷

発行 舞鶴市役所 産業振興部 産業創造室 みなと振興・国際交流課

〒625-8555 京都府舞鶴市字北吸 1044

電話0773-66-1037

印刷 株式会社 モトキ

---